

【入学式 式辞】

恵みの春雨に祝福された今日の佳き日、後援会会長高橋 修一さまをはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、皆様方に厚く御礼申し上げます。

ただ今入学を許可された70名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員、在校生一同、心から皆さんを歓迎いたします。

北斗高校は、昭和7年、1932年に開校し、今年度は九十四年目を迎える伝統校です。開学以来、学びたいという強い意志を持つ方々のために、時代の要請に柔軟にこたえ、青森県の定時制教育の中核を担ってきました。今日から皆さんと共に、新しい歴史を刻んでいくことを大変嬉しく思っております。また、皆さんも、この伝統ある北斗高校に入学することに、誇りを持ってほしいと思います。

さて、入学式にあたり、皆さんにお伝えしたいこと

が2つあります。

1つは、「出会いを楽しむ気持ちを持つ」ことです。100人いれば、100人分の人生があります。北斗高校という新しい環境で、新しい仲間や先生方と出会い、多くの学びと出会い、自分の幅をさらに広げてください。最初はとまどったりすることもあるかもしれませんが。慌てずに、何度でもやり直して、つながりを見つけて、新しい仲間や学びとの出会いを楽しんでください。

2つ目は、「できる限り多くの体験に挑戦する」ことです。皆さんは、北斗高校で学びたいという決意をもって、今日ここに集っています。本校では、様々なことにチャレンジする機会があふれています。教職員一同、地域の方々と協力しながら、皆さん一人ひとりが、様々な体験や学習をとおして、本来持っている力や、秘めた可能性に気づくお手伝いをしていきます。ただし、実際に行動するのは、力を発揮するのは、他

ならない皆さんです。時に失敗しても大丈夫です。高校時代に、自分の成長に向かって、何度でも挑戦の一步を踏み出してください。

次に、保護者の皆様、これまでずっと暖かく支えてこられたお子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私たち北斗高校の教職員は、お子様が安全に、安心して学べるよう、一丸となって支援する体制を整え、一人一人との対話を大切に、きめ細かな指導・サポートをしてまいります。時間がかかることもあれば、時には、厳しいことも、申し上げなければならないことが、あるかもしれません。それでも私たちは、お子様の将来を見すえ、社会で夢をかなえる姿を見すえながら、日々の教育活動に、誠心誠意全力で取り組んで参ります。どうかご一緒に温かく見守り、お子様のかげがえのない高校生活を後押しいただけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本校の名称である「北斗」は、北斗七星を表しています。春の星空を代表する北斗七星は、古来より、運命の転換や協力・絆を意味するとともに、北極星を見つける指針の星となることから、迷ったときの道しるべとして、私達を照らし続けてきました。皆さんそれぞれが、ここ北斗高校での出会いと学びの中から、自らを照らす道しるべを見つけることを、これからの人生を支える学びを得ることを、心から願い、応援しています。

学校はチャレンジと失敗を繰り返しながら成長していく場所です。どうか思い切って挑戦してみてください。北斗高校での生活が、皆さんの人生をより豊かにしてくれることを心から願い、式辞といたします。

令和八年四月七日

青森県立北斗高等学校

校長 菊池 真理子